

各位

平成 27 年 3 月 吉日  
公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館  
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285  
TEL 0460-84-2111 / FAX 0460-84-3108

## ポーラ美術館 展示替えに伴う臨時休館・休室のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き、厚く御礼申し上げます。

このたび当館では下記の日程において、展示替えの為、臨時休館・休室とさせていただきます。お客様へのご案内等ご迷惑をおかけいたしますが、宜しくご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

**◆ 全館休館 2015年3月30日(月)・31日(火)**

**◆ 一部休室 2015年4月1日(水)～3日(金)**

一部休室期間中、常設展示（展示室2～5）は通常通りご覧頂けます。特別料金、別表参照

別表 2015年4月1日(水)～3日(金)の特別料金

	通常日	4月1日～3日
大人 (15名様以上)	1,800円 (1,500円)	1000円 (800円)
大高生 (15名様以上)	1,300円 (1,100円)	700円 (500円)
中小生 (15名様以上)	700円 (500円)	400円 (300円)
駐車料金	500円/1日	300円/1日

2015年4月4日(土)～2015年9月27日(日)まで、企画展「セザンヌ—近代絵画の父になるまで」を開催いたします。

以上



ポール・セザンヌ《砂糖壺、梨とテーブルクロス》1893-1894年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館

# セザンヌ

近代絵画の父になるまで

**CÉZANNE** Pioneer of Modern Art

2015年4月4日(土) - 9月27日(日)

■開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 会期中無休 ■主催 公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館



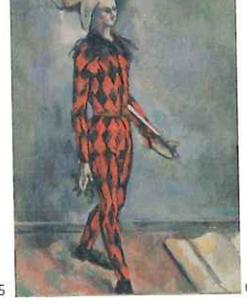
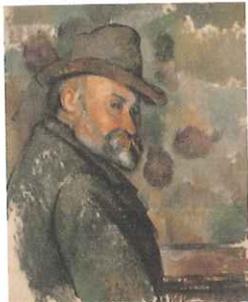
ポーラ美術館  
POLA MUSEUM OF ART

箱根 仙石原

# CÉZANNE Pioneer of Modern Art



1. ポール・セザンヌ《プロヴァンスの風景》  
1879-1882年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館
2. ポール・セザンヌ《ラム酒の瓶のある静物》  
1890年頃 油彩/カンヴァス ポーラ美術館
3. ポール・ゴーガン《白いテブルクロス》  
1886年 油彩/板 ポーラ美術館
4. ポール・セザンヌ《帽子をかぶった自画像》  
1890-1894年頃 油彩/カンヴァス  
石橋財団ブリヂストン美術館 ※会期中からの展示となります。
5. ポール・セザンヌ《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》  
1883-1885年 油彩/カンヴァス 横浜美術館
6. ポール・セザンヌ《アルルカン》  
1888-1890年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館
7. パブロ・ピカソ《裸婦》  
1909年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館  
©2015 - Succession Pablo Picasso - SPDA (JAPAN)



## セザンヌ 近代絵画の父になるまで

ポール・セザンヌ(1839-1906)は、ブラックやマティスなど、20世紀の芸術家たちに多大なる影響を与えた画家として知られています。「セザンヌはわれわれ皆の父親のような存在でした」という言葉を残したピカソをはじめ、この時代に新たな表現を生み出した芸術家たちは、独創性の高い表現を達成したセザンヌを、文字通り「父」と見なしていました。しかしながら、そのような存在に至るまでのセザンヌ自身の道のりは、決して平坦なものではありませんでした。

故郷エクス=アン=プロヴァンスで画家としての一歩を踏み出したセザンヌは、パリに上京すると、最新の芸術の動向に対峙します。1870年代には、印象派の画家として活動しますが、驚くべきことにセザンヌの作品が公式に評価され始めたのは、1890年代、画家が50代を迎えてからのことです。当時、セザンヌは故郷の南仏へと活動拠点を移しており、評価の高まったパリの美術界では、伝説的な存在として語られるようになります。本展では、ポーラ美術館が収蔵するセザンヌ作品9点を含む、およそ20点のセザンヌ作品に、印象派のピサロからキュビズムのピカソまで、セザンヌにかかわりの深い画家たちの作品を加えた約50点の作品を通じて、「近代絵画の父」になるまでに、セザンヌがどのように歩みを進めたのかをご紹介します。

### ギャラリートーク

担当学芸員が展示室で展示会の見どころをご紹介します。  
 日時：4月25日(土) / 5月23日(土) / 6月20日(土)  
 7月18日(土) / 8月22日(土) / 9月12日(土)  
 各回14:00-14:40、先着30名  
 (当日の入館券が必要です)

### 山田五郎による「アートトーク」

日時：4月18日(土) 14:00-15:00  
 講師：山田五郎氏(編集者、評論家)  
 会場：ポーラ美術館講堂  
 定員：100名(事前申込制、詳細はHPにて)



入館料	個人	団体(15名以上)
大人	1,800円	1,500円
シニア割引(65歳以上)	1,600円	1,500円
<small>(ただし、他の割引との併用は出来ません)</small>		
大学生・高校生	1,300円	1,100円
中学生・小学生(土曜日無料)	700円	500円

障害者手帳をお持ちの方は、ご本人と付き添いの方1名様まで割引となります

### 講演会

「セザンヌ芸術の魅力  
 人物画、静物画、風景画、水浴図」  
 日時：5月16日(土) 14:00-15:30  
 講師：島田紀夫氏(実践女子大学名誉教授)  
 会場：ポーラ美術館講堂  
 定員：先着100名(当日の入館券が必要です)

### トークイベント

「セザンヌ 南仏での暮らしと食」  
 日時：6月27日(土) 14:00-15:30  
 講師：林綾野氏(キュレーター、アートキッチン代表)  
 会場：ポーラ美術館講堂  
 定員：先着100名(当日の入館券が必要です)

### 同時開催

「ポーラ美術館の絵画」  
 西洋絵画と日本の洋画、そして日本画の作品から代表的な作品を紹介します。  
 ビエール・オーギュスト・ルノワール  
 《レースの帽子の少女》1891年



「ガラス工芸名作選」  
 アール・ヌーヴォーを代表する作家であるエミール・ガレ、ドーム兄弟、ルイス・C・ティファニーの作品をご紹介します。  
 エミール・ガレ《ケン文花瓶》1900年頃



「ルネ・ラリックと香水瓶」  
 20世紀前半の作品を中心に、ルネ・ラリックのデザインした香水瓶をはじめ、美しくもユーモラスな香りの容器をご紹介します。  
 ルネ・ラリック《葉の美形柱付香水瓶》原型制作:1920年



●現代美術作家、越中正人氏によるセザンヌへのオマージュを試みた映像インスタレーション作品を展示します。

### 次回企画展のご案内 「ルソー、フジタ、アジェのパリ」(予定)

お問い合わせ ポーラ美術館 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285 TEL:0460-84-2111(代表)  
<http://www.pola-museum.or.jp> ポーラ美術館 polamuseumofart にいいね!してください @polamuseumofart

[交通案内]  
 お車をご利用の場合  
 ●東名御殿場ICより乙女峠経由、仙石原・小塚山まで約20分  
 ●東名厚木ICより小田原厚木道路、箱根湯本・宮城野経由、仙石原・小塚山まで約65分  
 電車・バスご利用の場合  
 ●「小田原駅」より箱根登山線乗車。「箱根湯本駅」乗り換えで「強羅駅」下車後、観光施設めぐりバスにて13分「ポーラ美術館」下車  
 ●「小田原駅」または箱根登山線「箱根湯本駅」より桃源台行バスで「仙郷楼前」下車後、観光施設めぐりバスにて3分「ポーラ美術館」下車  
 ※2015年3月14日(土)、小田原駅・箱根湯本駅よりポーラ美術館乗り換えなし直通バスが開通予定!  
 詳細は近日ホームページでご案内いたします。



**ポーラ美術館**  
 POLA MUSEUM OF ART  
 箱根 仙石原